

くのいち淫道中

くゆず葉帰郷編

くのいち淫道中



成人向け

十八歳未満の購入・閲覧禁止

あの女は
みつかったか？

カ
ア
ー

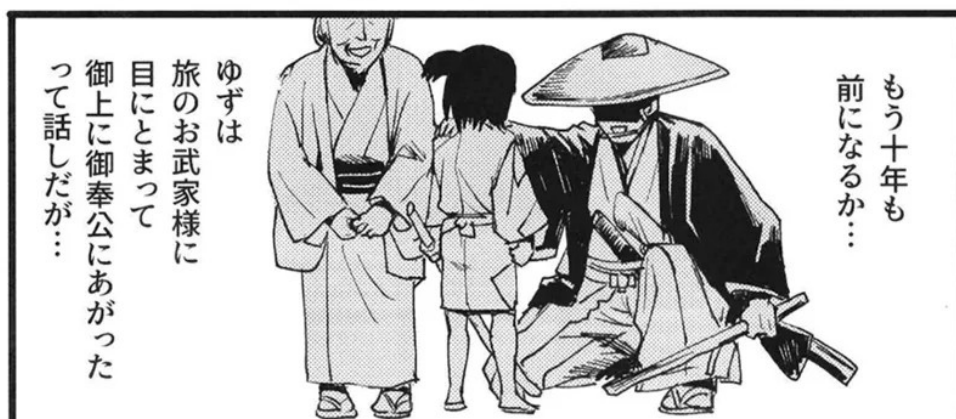
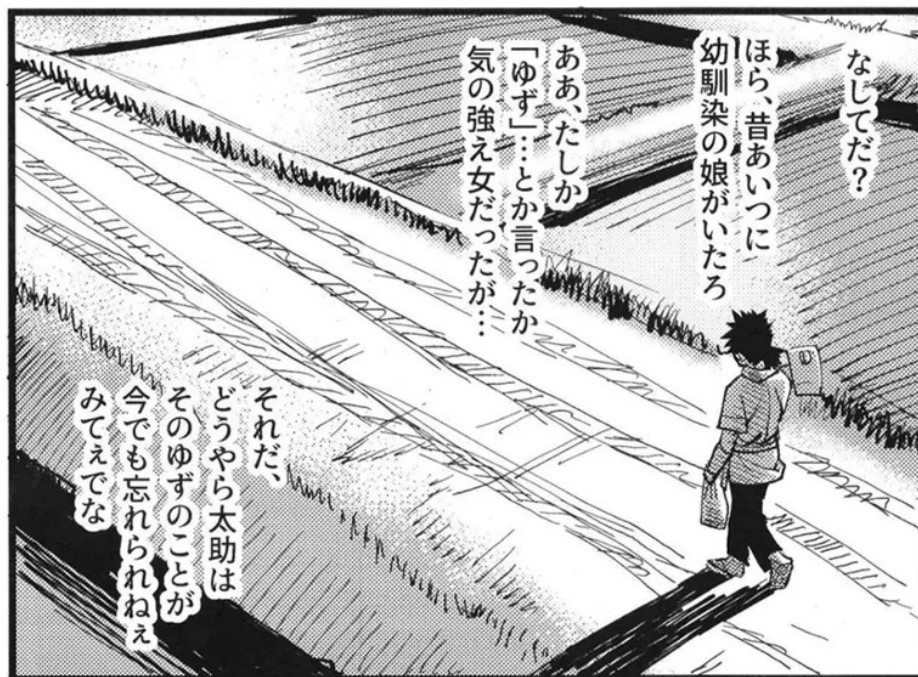
いや…
見当たらん

こっちもだ…
しかし本当に
この村に
逃げ込んだのか？

ここは
あの女の故郷だ…
間違いないさ

必ず戻ってくる
はずだ…
愛しい男に一目
会いにな

……



江戸にでも行ったなら
もう帰ってはこねえ
だろうなあ……

はあ……
また今日も
誘い断っち
まったなあ

俺だって
本当は……

ん？

誰だろう？
家の前に
女の人が……

あの……
そこは俺の家だが
なんか用だか？

！

あ……あの
太助は俺だけど

前にどっかで
会ったかな？
なんで名前……

太助？

おいおい……
あたしの顔を
見忘れたか？

まさか……





なんか懐かしいな
この感じ……
ムキになった俺を
ゆず姉がからかって

会うのが久しぶり
すぎて最初は少し
戸惑ったけど……
ゆず姉は昔と何にも
変わってねえや

変わったと
すれば……

さてと



この肉づき……ッ！

むち♡

むち♡

お、おう

たまんねえ体だ……
むしゃぶりつきてえ

風が
でてきたな……
そろそろ中に入ろう



ってバカ野郎！
俺は何考えて……

あ、えっと
そうだった

そういえばサ……
ゆず姉ってば
たしか御公儀に
お仕えしてる
とかきいたが……

太助よ

あたしのことは
詮索無用だ……
大人の女に
あれこれ聞くなど
無粋だぞ

……すつ
すまねえ

まったく…
お前は体こそ
大きくなったが
あっちの道は
さっぱりの
ようだな…

あっち？

「女」だよ

その様子では
女を抱くどころか

まだ柔肌に
触れたことも
無いとみえるが…

違うか？

ひらっ♡

クイッ

お、俺は別に
女なんか…

今…
ちらっと
下の毛が…

その割には
随分と興味津々
だったようだが

えっ…

さっき…

あたしのカラダを
品定めするように
見ていただろう

あっ…
あれは
その…

なんだこれ！
からかわれてん
のかな？

ゆず姉は
こんな淫らな冗談
言わねえんだぞ

俺の知ってる
ゆず姉はもっと
男っぽくて…

男っぽい…

しやる…

これでもか？

って、
ゆず姉！？

ゆ、ゆず姉の
おっぱいッ！

バカ

おっぱい

ミミ

つちよ…
ゆず姉
やばいって

ナニがやばい？
本当は女を知り
たいんじゃないか？

いや…
でも

あたしが
女を教えて
やる

ホッ…

バーン

代われ
太助

あたしが
手本をみせて
やる

ゆづ

しし
しし

ズッ

ズッ

ビクッ

愛撫は
力任せにしては
いかん

こうやって
優しく触る…
わかるか？

うん

ゆず姉の指…
スベスベしてて
ひんやりしてて…
たまらねえっ

信じられねえッ
あのゆず姉が
俺のを頬張って
るなんて…

ちゅぽっ
ちゅぽっ

ちよっ
ゆず姉？

そんなんっ
口で啜えたら
…あぐっ…あぐ

もっと…
気持ちよく
しなさんな

♡

はぁっ♡



あほん...

やべえええ
思わず
ゆず姉の口で...

ゴロ...

ビュッ...

出!

タラ...



ゆず姉っ?

ん...

ゆず姉の口を
汚しちゃうなんて

なんてこった...
わざとじゃない
にせよ...

は

ふふふ♡
あ♡
あ♡
あ♡



まさか今の...
飲みほしたのかっ?

ふう♡
すごい粘り気だ...
流石に濃いな

一体
どれだけ溜めて
いたのやら...

グイ



くのいち...?

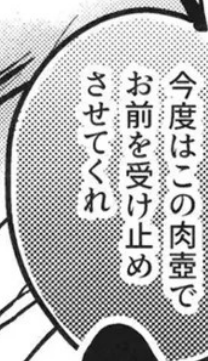
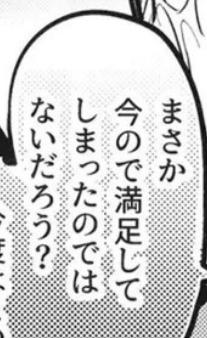
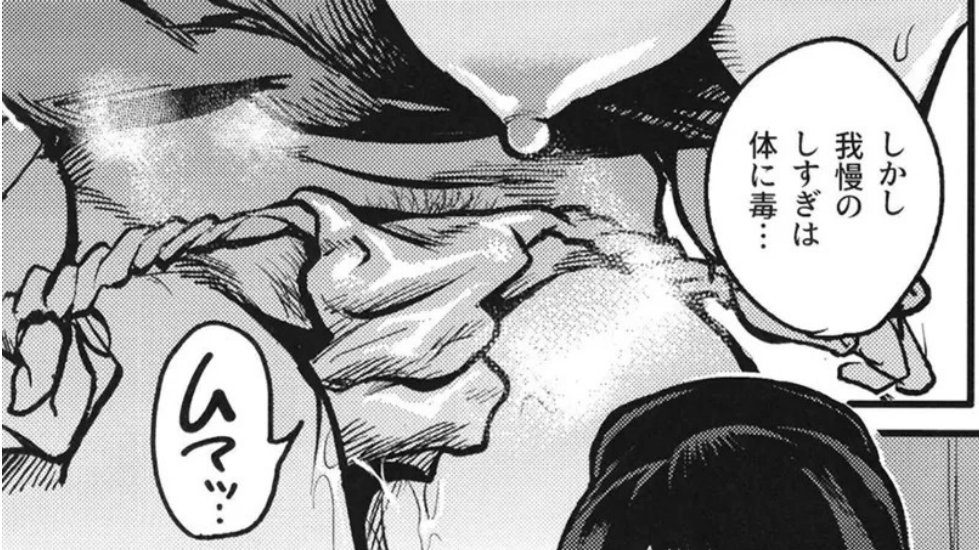
案ずるな...
女というのは
多少のことは
耐え忍ぶもの
だぞ

くノ一であれば
なおさら...な

くのいちって
のがゆず姉の
仕事なのかな



うろ...





ゆず姉の中に
ちゅほ
ブチ込めてえっ

はぁ

ちゅん



あ

ぐ

300
300
300
300

ゆず姉
動くぞ…



ギィ…

キツイな…
でも挿れてる
だけで気持ちいいっ

たんたん

やべえコレ…
さっき口でして
もらったのも
良かったけど…

全然違う…
もっとすげえ!

グッ

ズーッ
ズーッ
ズーッ

太助…
もっと

ゆっくり…
動いて

はち

はち

これが
男女の
まぐわい!

グーッ

たやん

たやん

たん

たん

ゆず姉も
さっきまで
あんなに
余裕だったのに

呼吸も乱れて
顔も真っ赤にして
感じてる

はるん

アハ
アハ

こんなの…
腰が止まら
ねえよっ!

はち♡



俺もだッ
俺…ゆず姉のこと
好きだったからッ……
初めての女が
ゆず姉で嬉しいッ!



馬鹿者ッ
恥ずかしげもなく
ハッキリと…

だがそれは
あたしも同じ

あたしも……
はじめてはお前と
心に決めていた

え?



ゆず姉も…
はじめて?

きつと
お前には

あたしが
誰とでも寝る
淫乱に見えているん
だろうな……
無理もない…

本当に
遅しく
なったな…

あたしは
嬉しいぞ

はぁッ

くノ一とは
男を悦ばせる技を
極めた者をいう…

あ

役目から
男を誘惑し、
体を使って
誑(たら)しこむ…

はん

は

ちゅ

ちゅ

じゅ

汚らしい…女だ
そんな女が操を
守り抜いたなど
信じがたいよな…

でも…本当に
あたしはっ

ん

ん

ちゅ

わかって
るぞ！

くノ一だろうと
なんだろうと…
ゆず姉はゆず姉だっ

俺もう
イキそうっ…
ゆず姉のナカに
出していいかッ

ゆず姉ッ…
出すぞオオオ

ハッ

ハッ

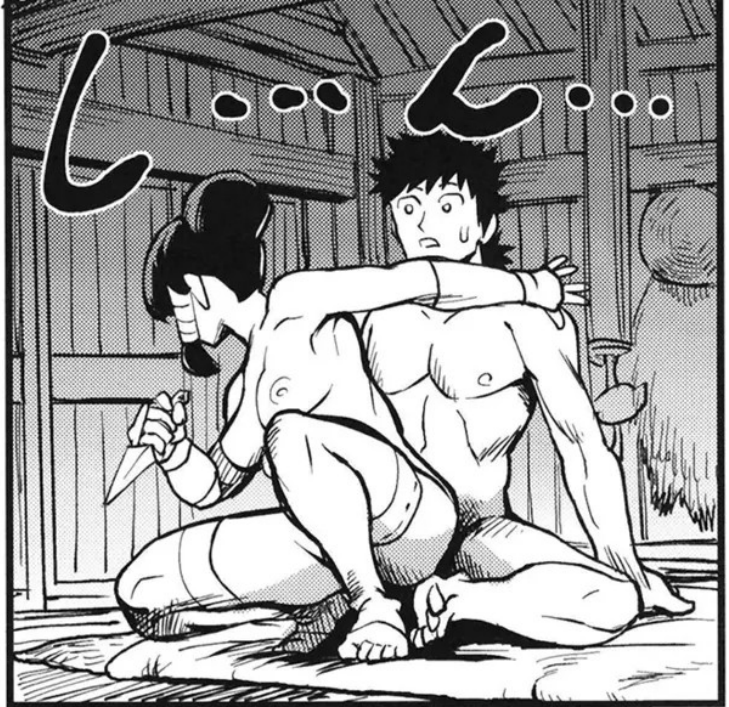
ハッ

ハッ

ちゅ

ちゅ

ハッ



どうした
ゆず姉

木のへぎ...
ま...
ま...

この家には
俺たち以外
誰もいやしねえぞ？

太助よ

実はお前には
黙っていたのだが...



公儀に
追われてる？



なんだ？
ハッキリしねえ
な.....

落ち着いて
聞くのだぞ

そう、あたしは
公儀の隠密として
働いていた...

でももう
今は違って...
その.....



どういうことだ？
確かゆず姉は公儀に
いたんだろ？
だったら仲間じゃねえか

.....

公儀隠密に
狙われている
のは…

お前の
方なんだ

!?



なっ…え？
おおお俺？

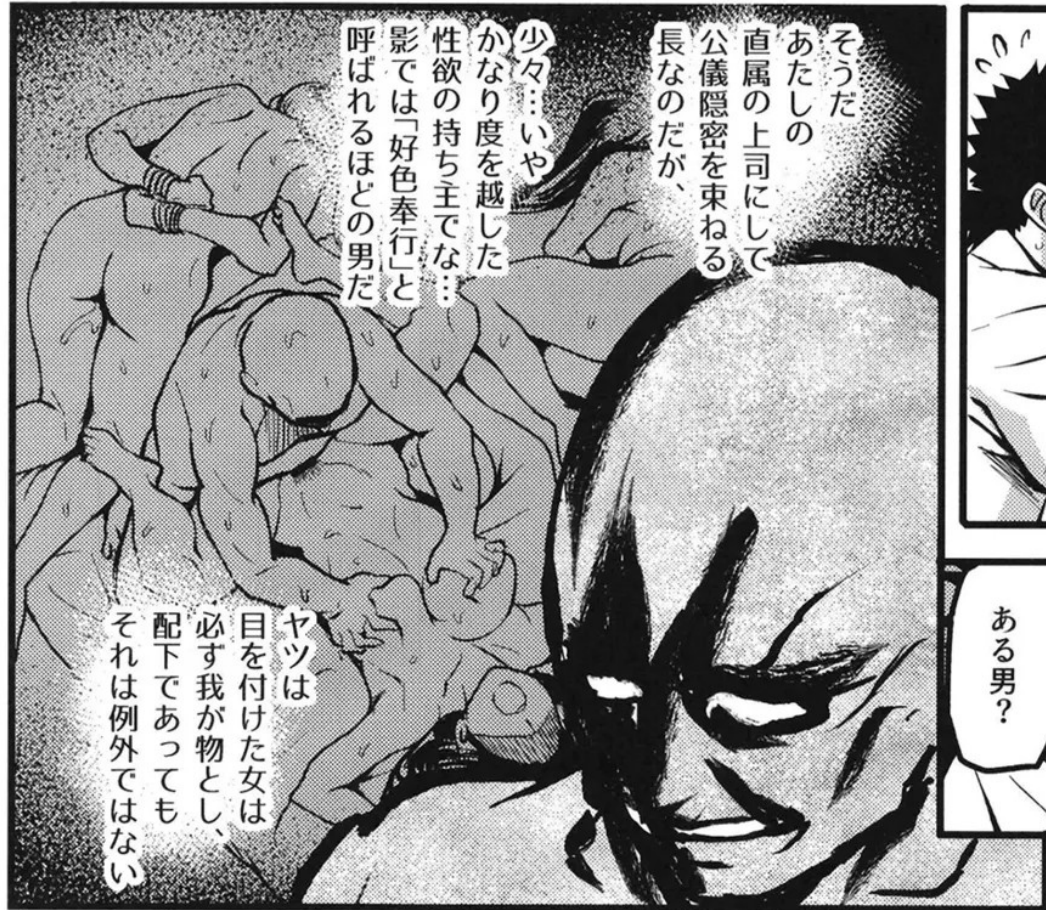
なな
なんで俺が

落ち着け
太助



この度の一件は
あたしが
ある男を怒らせた
ことに端を発する

ある男？



そうだ
あたしの
直属の上司にして
公儀隠密を束ねる
長なのだが、

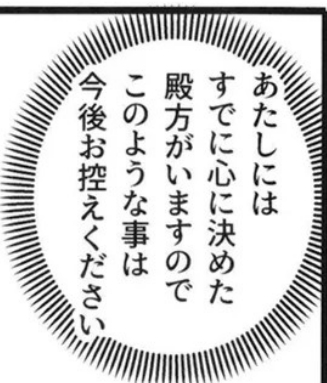
少々…いや
かなり度を越した
性欲の持ち主でな…
影では「好色奉行」と
呼ばれるほどの男だ

ヤツは
目を付けた女は
必ず我が物とし、
配下であっても
それは例外ではない



日頃あたしも
言い寄られていて
辟易していたのだが、

ある日のこと
何を血迷ったか
腕づくであたしを
組み敷こうとしてな



あたしには
すでに心に決めた
殿方がいますので
このような事は
今後お控えください



咄嗟の事で
つい手を出して
しまったのだが…
それがヤツの逆鱗に
触れてしまった

上司に歯向かったとされ
あたしは公儀隠密を追放…
それだけなら
良かったのだが

あの男の怒りは
収まることなく
お前にも
刺客が放たれた…
というわけだ

馬鹿げた話だが、
ヤツは己の欲望に
忠実な男だ
悔むことは
できん

そんな…

なんだよ
それエ…

刺客って
何だ？
俺…殺され
ちまうのか？

だが恐れるな！
お前のことは
あたしが
命をかけて守る

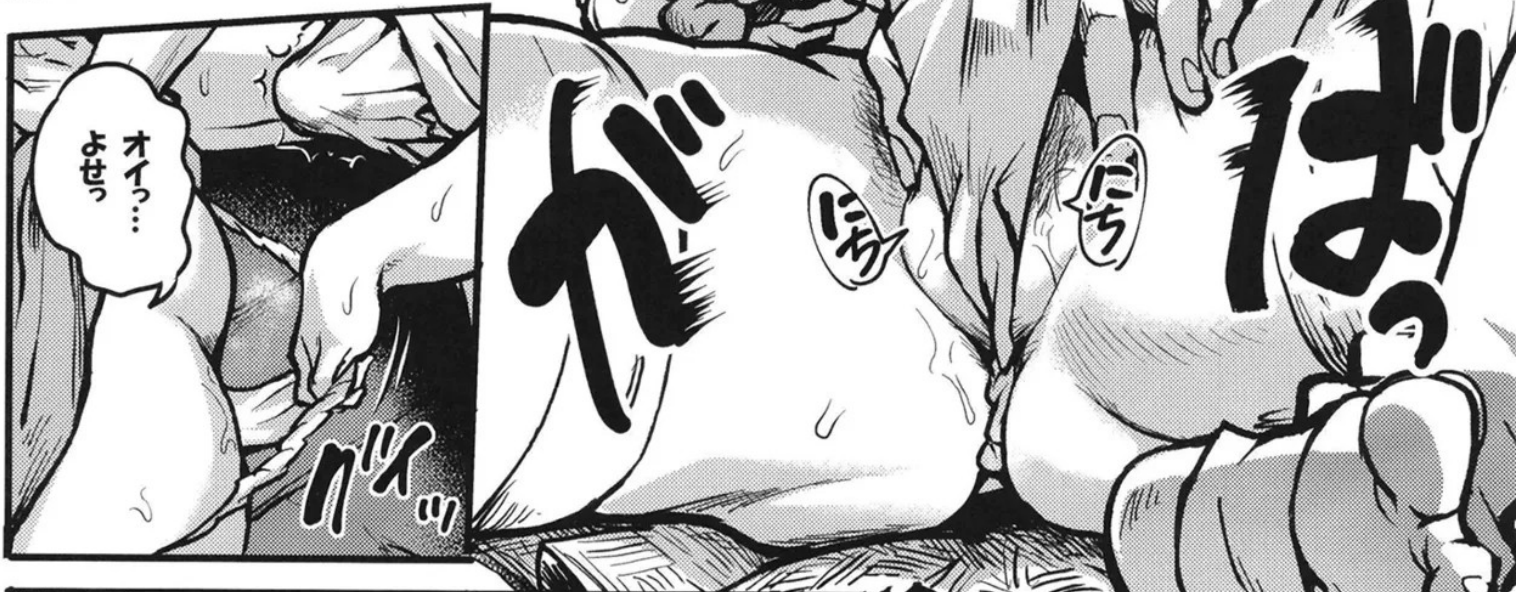
ゆるゆる

ふざけんなツ！

え？

せつかく
ゆず姉といい仲に
なったって
のによオオ

太助！





あゝゝゝ

だってそうだろう
いつ敵がくるか！
いつ死ぬのか
わからねえんだったら

あゝ
んゝ

このいやらしい尻も
もっと突いて欲しいって
言ってるぞ！

はちゅん

はちゅん

はかの
もの

こんなの
いけないっ

はちゅん

はちゅん

はちゅん
はちゅん
はちゅん

一回でも多く
ゆず姉の中で出して
から死んでやる！

こうして
いる間も
追手が
せまっている
というのに…





頭が気持ちよく
なることに集中しちゃう！

イク♡
イっちゃう♡

あたしの
おまんこ

よおし…
奥にたっぷり
種付けして
やるからな



ああ出るッ
出すぞおお
ゆず姉ええ

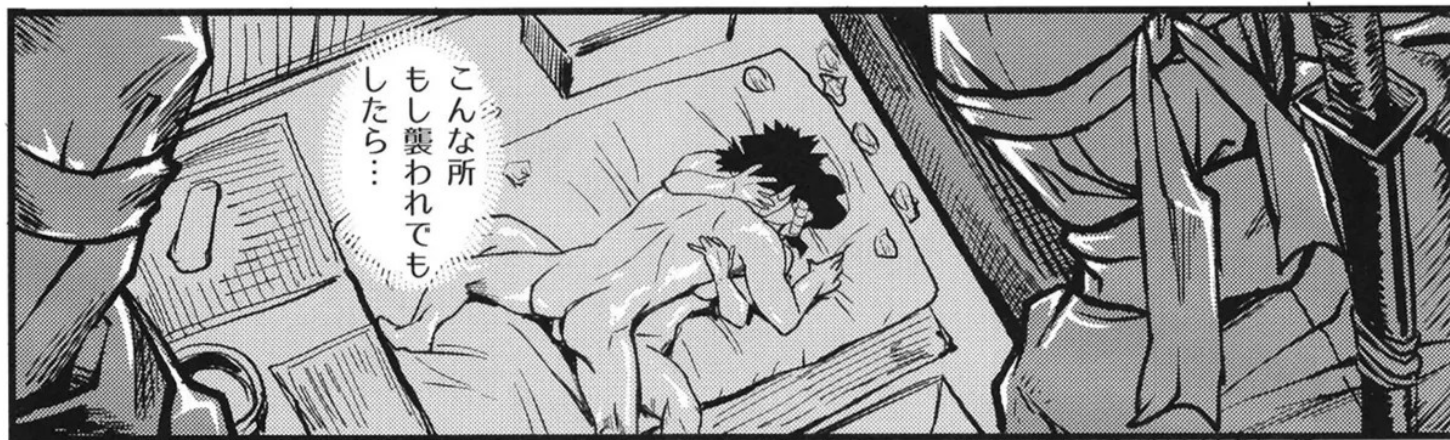
ズヨッ♡

ももも
ズボズボして♡

きゅっ♡

あたし
もっためっ…







え?

アガッ



これでわかったろう太助



さっき話した公儀の手の者だ...
我らを始末にきたのだろうな



なんだコイツラッ...

ドサッ

もうここには
いられない



公儀あんみつ
くのいち淫道中
～ゆず葉帰郷編～

